

1 事業の背景と目的

我が国は、世界でも類を見ない超高齢社会に突入しています。横浜市においても、急速に高齢化が進行しており、2025年（平成37年）には市内人口の高齢者人口は約100万人に迫り、市内人口の4人に1人以上が65歳以上の高齢者となることを見込まれています。

このような超高齢社会を迎えて、横浜市では健康寿命日本一を目指し、全市民で取り組む健康づくりを進めています。平成26年12月に策定された「横浜市中期4か年計画2014～2017」では、未来のまちづくり戦略の中で、「全市民が健康づくりに取り組むまちづくり」を進めることとされており、それを踏まえた基本政策において、健康みちづくり（歩行空間等の整備検討）などによる健康づくりの場の創出に取り組むこととされています。

「健康みちづくり推進事業」は、市民の皆さまの健康増進や外出意欲の向上に資する歩行空間を整備することにより、楽しみながら健康づくりに取り組める場を創出するとともに、一人ひとりの健康寿命を延ばし、いきいきと楽しく暮らせる活力ある横浜を創ることを目的とした事業です。

よこはまを歩いて楽しく健康づくり
目指せ！健康寿命日本一

2 実施計画策定の目的（位置づけ）

本実施計画は、健康みちづくり推進事業を計画的に進めていくため、事業の実施における基本的な考え方、標準的な整備メニュー、整備を予定するルート計画等を定めるものです。

なお、事業は横浜市基本構想（長期ビジョン）で展望されている期間や、未来のまちづくり戦略のターゲットを考慮し、2025年（平成37年）を基本目標として進めていきます。

3 事業の実施における基本的な考え方

本事業では、次の考え方に基づき、必要な整備や取組を推進していきます。

幅広い世代を対象とした健康づくりの支援

若者から高齢者まで幅広い世代の市民の皆さまが、歩くことの楽しさを感じ、健康増進や外出意欲の向上につながるような魅力的な歩行空間やウォーキングルートの整備を進めます。あわせて、関係する健康づくり施策との連携を図ります。

道路・河川・公園緑地などの事業間連携

道路・河川・公園緑地などの既存ストックを有効に活用し、健康づくりに取り組める場を創出するため、道路・河川・公園緑地などのインフラを所管する関係区局間や国、県等との連携を図るとともに、健康づくりに資する相互の取組の相乗効果が得られるように連携して施策・事業を進めます。

幅広い世代の
健康づくり

健康みちづくり

事業間連携

（道路・河川・公園緑地など）

地域との
連携・協働

地域との連携・協働による事業推進

地域の実情やニーズに合った整備や取組を推進するため、計画段階から整備、維持管理の段階までを通じて、区役所や地域関係者等と連携・協働して検討を進めるとともに、市民の皆さまの事業への理解や関心をより一層深めます。

4 事業の実施における地域との連携・協働

本事業では、日頃から地域に親しまれている道路・河川・公園緑地などを活用し、市民の皆さまが健康づくりに取り組める場を創出するため、ルート上の美化活動等を行う団体等のご意見も伺いながら歩行空間や施設の整備を推進していきます。

整備した歩行空間等は、その機能を適正に保つため、行政と市民の皆さまとの連携・協働により日常的な清掃や美化活動等を実施するなど、地域にとってより身近で親しみの持てる空間づくりに取り組んでいきます。

〈参考〉道路・河川・公園緑地における市民協働の取組例



・ハマロード・サポーター



・水辺愛護会



・公園愛護会

5 標準的な整備メニュー

健康みちづくり推進事業では、案内サイン（距離標やルート案内板）等、ベンチ等の休憩施設、歩道の舗装、街路樹、植栽等を標準として、整備を進めていきます。

～標準的な整備メニューのイメージ～



ベンチの整備イメージ



街路樹・植栽の整備イメージ



案内板の整備イメージ



距離標の整備イメージ

※標準的な整備メニューとしてお示している各施設については、現地の状況や道路の幅員など通行等の安全性が確保できる場所に設置します。

6 ルート計画の設定

(1) ルート設定の基本的な考え方

健康みちづくり推進事業を進めるにあたり、事業で整備を予定するルート計画を設定します。ルートは、次のような視点に留意し、設定します。

【ルートを設定する際の視点】

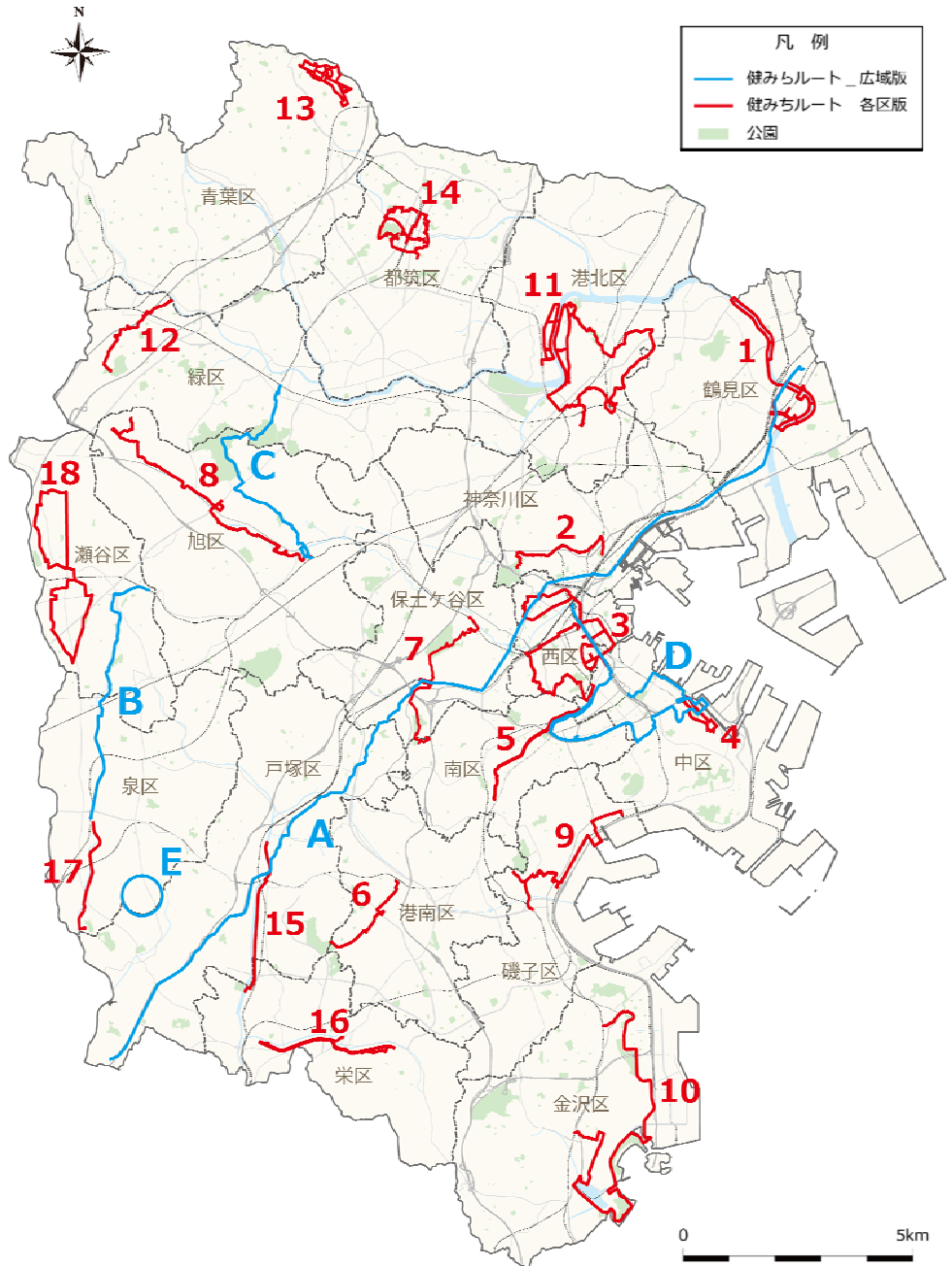
- ① 既存の地域資源の有効活用 自然環境や歴史・文化などの地域資源や魅力を活かしたルート設定
- ② ルートのネットワーク化 ルート付近の公園や駅などと接続し、既存ルートの利便性や選択性を高めるルート設定
- ③ 他の健康づくり施策との連携 健康づくりに係るソフト施策（イベント等）と連携する地域ニーズに合ったルート設定

(2) ルート計画の設定

ルート設定の基本的な考え方に基づき、「健みちルート_各区版」は、区毎に1ルートとして、計18ルートを設定します。「健みちルート_広域版」は、市全域で5ルートを設定します。

○設定したルート計画一覧

ルート名称(健みちルート_各区版)	
1	鶴見区 彫刻群に親しみながら歩く鶴見川沿いルート
2	神奈川区 水と緑豊かな安らぎのルート
3	西区 地域資源をたどる、3つの温故知新ルート
4	中区 港を見渡す山手洋館巡り(山手・東側コース)ルート
5	南区 誰もが気軽にウォーキングを楽しめる川と桜のルート
6	港南区 ゆったり楽しむ緑と水辺のさんぽルート
7	保土ヶ谷区 やすらぎをもとめて公園めぐりルート
8	旭区 帷子川の水源地を訪ねる自然と歴史のルート
9	磯子区 海と山、2つの魅力を感じるルート
10	金沢区 旧海岸線を感じながら、歴史・海・緑をめぐるルート
11	港北区 鶴見川と2つの緑道をめぐる、水と緑のルート
12	緑区 素朴なスケールの岩川と沿道の田園風景を楽しむルート
13	青葉区 美しが丘健康づくり歩行者ネットワークルート
14	都筑区 つづき五山と早淵川を歩くルート
15	戸塚区 幅広い年齢層が触れ合える柏尾川ルート
16	栄区 花や鳥、豊かな自然に出会うたち川ルート
17	泉区 水と緑の地域資源に親しむ和泉川遊歩道ルート
18	瀬谷区 豊かな自然環境と歴史の地域資源をめぐるルート
ルート名称(健みちルート_広域版)	
A	横浜旧東海道ルート
B	川辺を歩くせせらぎルート
C	山と緑を感じる自然豊かなルート
D	横浜の遺産から現代へタイムスリップルート
E	旧深谷通信所外周道路ルート



※設定したルートには国や県等が所管する施設があるため、各ルートの具体的な整備の内容を検討する際に施設管理者と詳細について協議や調整を行い、その結果を踏まえて整備を進めていきます。

※今後、各ルートの整備内容について、地域の実情やニーズ等を踏まえて詳細な検討を行った結果、ルートを変更することが適切であると考えられる場合には、ルートを変更することがあります。

7 整備したルートの活用イメージ

本市では、健康寿命日本一を目指し、全市民が取り組む健康づくりを進めており、よこはまウォーキングポイントをはじめとする様々な取り組みが実施されています。

本計画に基づきルートの整備を進めることにより、健康づくりの場を提供し、多くの市民の皆さまに活用していただくことが重要となります。

そのため、それぞれのルートの特性なども含め、楽しみながらルートの魅力を知っていただくため、各区で行われる様々なウォーキングイベントや健康づくり施策などと連携していくとともに、広報などを通じた情報発信、また、地域の道路・河川・公園緑地で活動されている団体の皆さまとの協働など、関係区局と連携しながらソフト・ハードの両面から健康みちづくりの推進に向けて取り組んでいきます。



○関係する主な健康づくり施策の例

■よこはまウォーキングポイント事業（健康福祉局）



40歳以上の横浜市民または横浜市内事業所で働いている40歳以上の方が歩数計を持って楽しみながら健康づくりを進めていただく事業。

■とつかスロジョグプロジェクト（戸塚区）



戸塚区柏尾川沿いを市内在住者や在勤・在学者の参加により、時速4kmのゆっくりしたペースで走る「スロジョギング®」を実施。

■健康づくり公園事業（環境創造局）



健康器具

健康器具やウォーキング案内板を設置するなど公園の施設整備を推進。公園でできる健康づくり冊子を作成・活用。



お問い合わせ先

横浜市道路局計画調整部 企画課計画調整担当

〒231-0017 横浜市中区港町 1-1 横浜関内ビル 8F

TEL : 045-671-4086 FAX : 045-651-6527 E-mail : do-kenmichi@city.yokohama.jp

健康みちづくり推進事業実施計画の詳細については、ホームページをご覧ください
「横浜市 道路局 健康みちづくり」で検索！